



会員募集中

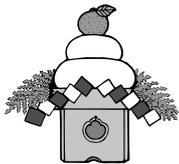
# つくる、つくろう通信

陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属 

編集：陣内やすこと明日の八王子をつくる会 / 発行：陣内やすこ(市民自治の会)

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 0426-36-8158 FAX 0426-36-8640

E-mail jinaiya@mbk.nifty.com URL http://homepage3.nifty.com/jinaiya/



あけましておめでとうございます。

昨年の活動を力に今年もがんばっていきます。



— 平和・多様性・自治をめざして —

## 保育園の民間委託、ここが問題！

八王子市でも保育園の民間委託の問題が出ています。現在、八王子市の保育園は、市立保育園が17園、民間の私立保育園が65園あります。保育園の定員は8,658人となっています。待機児童の数は987人(11月末)です。このような現状の中、市は市立保育園の1園を廃止し、6園を民間委託するという方針を出しました。市立保育園は10園のみを存続させるというのです。その理由は民間で行えるものは民間で行い、市として行政がやらなければならないことに予算と人材を重点配分するためと説明されています。保育・子育てにおける行政の役割はなにかについて市は、障害児保育の拡充、虐待児の緊急避難・入所優先、家庭保育のサポート、と説明しています。おりしも、子ども家庭支援ネットワークおよび子育て推進プランが策定されているところでもあり、保育全般に対する行政の役割はますます大きくなってきています。

しかし、だからといって市立保育園を民間委託していいということにはなりません。市立保育園の地域へのかかわりはますます強くなっていくべきだと考えます。地域子ども家庭支援センターを今後4つ作っていくと計画されているのですが、市立保育園にこういった支援センター機能を持たせるという方向性も考えられます。しかしそういった働きかけは今のところあらわれてきていません。

市立長房西保育園の民間委託化だけが優先課題となっています。長房西保育園の父母の会は民間委託化に反対しています。なぜ民間委託するのが十分に説明されていないことが一つの理由です。保育園の民間委託は長房西保育園だけの問題ではありません。市民協働を掲げる八王子の保育行政をどうするかという市民全体に関わる問題なのです。

皆さんはどうお考えになりますか？

### 《指定管理者制度による保育園の民間委託化が図られました》

第108号議案 八王子市保育園条例の一部を改正する条例制定について

：

第8条 保育園の管理は、地方自治法第244条の2第3項の規定により、指定管理者に行わせることができる。

	陣内	新政会	公明党	共産党	市民・民ク	ネット・社	諸(上島)
採決	x			x		x	x

### 今までの経過

- 2004・夏頃 長房西保育園が移転に伴い、民間委託されるという話が出る
- 2004・10月 政策会議で民間委託を決定
- 2004・12月 保護者側の要請による説明会
- 2004・3月 1万筆あまりの署名を添えて市立保育園としての存続を求める請願(議会にて請願の不採択)
- 2004・4月 市主催による第1回保護者説明会
- 2004・11月 市主催による第2回保護者説明会
- 2004・12月 保育園管理に指定管理者制度を導入する条例案提出(採択)

### 問題点

- ・市民との協働をうたいながら、保護者および市民への説明責任を果たしていない。
- ・政策会議で民間委託を決定するまで、保護者にはなら知らされてなかった。知らされたときは、こう決まりました、という報告になっている。
- ・話し合い、議論をしながら合意点を見つけていくという姿勢に欠ける。
- ・保護者との合意がないまま、指定管理者制度の導入を図った。
- ・指定管理者制度の説明が不十分。(次ページ参照)
- ・保育園へのこの制度導入の是非が議論されていない。などなど

# 第4回定例議会開催される(11月22日～12月15日)

## 一般質問しました

### 安心して暮らせるまちづくりー災害、外国人編ー



：八王子市には現在、101カ国、7,827名の方が外国人登録しています。中国の方が2,815人、韓国の方が1,887人、フィリピンの方が1,083人となっています。大規模災害発生時には、避難所情報、物資情報等の災害情報を提供する予定と、「八王子市地区防災計画」には書かれていますが、外国人の方々への情報伝達の方法と、体制はどのようになっていますか。また、10月に行われた外国人のための防災訓練をどのように評価し、今後の教訓としていますか。さらに今ある防災ガイドブックの全文多言語による改定を要望します。

市民活動推進部長：外国人に対する災害時の情報伝達については、語学ボランティア、外国人支援団体などと連携して対応していくという計画を作っているところ。また、個別のネットワークを活用したシステムづくりをしていきたいと考えている。外国人に対する防災訓練は非常に効果があった。

生活安全部長：防災マップについて、次回の改定時には多言語による全文説明も視野に入れて考えていく。

感想：少しずつ進んでいる多文化共生社会への歩み。思想、宗教、食べ物、習慣、いろいろな人がいるということを理解し、そういった人々と社会を作っているのだということを実感するには、体験や経験がまず第一です。そして当事者の意見をまず聞くこと。日本にいるなら日本のやり方に従えというのは暴力です。

### ゆめおりプラン実行編ー八王子はどこへ行く？



：これからの3カ年、大型開発事業、建設事業はどれくらい計画されているのか、事業ごとの全予算規模を示してほしい。

総合政策部長：八王子ニュータウン中央地区小学校建設に23億7,800万円、(用地代含まず)(平成18年度終了予定)  
戸吹総合スポーツ施設整備に5億1,300万円(20年度)  
道の駅整備に4億4,500万円(18年度)  
中央道八王子インター北地区整備に20億円(18年度)  
道の駅の地域振興施設に1億5,800万円(18年度)  
高尾山麓駐車場整備5,500万円(17年度)  
戸吹第二最終処分場建設19億3,000万円(20年度)

事業費未定予定事業(いずれも20年終了予定)  
新市民会館建設(約70億円?)  
八王子駅南口市街地整備(約48億円?ペDESTリアンデッキ等)(ミニ市役所はどうなっているの?)  
高尾駅北口駅前広場整備、南北自由通路整備(約18億円?)

議会での論議、日ごろの広聴活動、そうしたものを踏まえた上で事業選択を行っている。また、分野別の計画策定

あるいは重要施策の企画立案にあたっては、市民の皆さんからの意見反映を行うための努力をしている。市政への市民参加機会のルール化は重要な課題と認識し、早急に取り組んでいきたい。



：単純に足し算しても196億円あまりの事業費がかかる。今、八王子の借金は2,941億円、1日の利息返済額は2,556万円にもなっています。若者世代にもうこれ以上の負担はごめんだという趣旨の発言もあり、市民の声を聞かなければならない。財政的な見通しを個別に示すべきです。事業の優先順位を決めるのは行政ではなく、市民です。

しかも大型事業はこれだけではない。二ツ塚の最終処分場にはエコセメント工場が建設されていて、来年度から稼働予定です。建設費と運営費は20年間で処分組合試算で総経費765億円、修繕費や光熱費が含まれていないので、1,000億円近くかかるともいわれています。25市1町の組合構成自治体が分担する仕組みですが、八王子の負担はどれくらいか。また、エコセメント事業から離脱して、自区内処理を徹底するという選択はなかったのか。

1993年から1997年にかけての大型開発事業が今の財政逼迫の要因です。税収も落ち込んできている。だからこそ行財政改革に取り組んできている。何のための行財政改革か。市独自の政策を実現できるような資金を作り出し、福祉の増進を図るためではないのか。

総合政策部長：都市基盤整備とか、産業活性化、こうしたものは八王子のまちづくりにとっては不可欠の課題。施策全体のバランスを総合的に勘案しながら事業選択をして、優先順位をつけた。

感想：市民の意見とは議会の意見ということなのか。もちろんそれもひとつ。議会では賛成意見も出ていれば、反対意見も出ている。だからこそ、多くの市民に意見を求める必要がある。市民自治の流れを作るためにも。

市長：地域産業の活性化、都市基盤の整備などは公約として掲げてきたもので、市民の信託を受けて市長として本市の舵取りをゆだねられた以上、全力を挙げて実行することが私の責務。

感想：でも、市長選の投票率は29%。それによる信託も錦の御旗のように掲げるにはあまりにも低すぎませんか。民主主義とは、たとえ一票差でも多数を取ったものが何でもしていいということではないはず。少数意見をどうやって尊重するか、合意形成をどう行うかがこれからの民主主義にとって必要です。リアリティのある政治が求められている。

### 特別支援教育の進捗とインクルージョン教育



：特別支援教育のモデル事業が小学校10校、中学校3校で始まっているが、実際にどのような取り組みになっているのか。また、校内委員会の役割は何か。具体的な機能

をお聞きします。

教育指導担当主事：地域の方々やボランティアの支援を得て、特別指導を行ったり、通級学級の担任が近隣の学校を巡回し助言をおこなうなどしています。盲ろう養護学校の生徒が市内の小中学校で交流を始めている。校内委員会の基本的な機能は、支援の必要な児童生徒を学校全体で支えていくためのもの。専門家を招いて研修を行ったり、こどもの事例検討などを行っている。



：インクルーシブな教育に対する理念が学校全体で共有されているようにはなかなかない。サマランカ宣言（キーワード解説）でも「インクルーシブな方向性を持つ学校こそが差別的な態度と戦い、喜んで受け入れられる地域をつくり、インクルーシブな社会を建設し、万人のた

めの教育を達成する最も有効な手段」とっています。義務教育の場合、どこで学ぶか、どのように学ぶかを誰が判断するのか。そしてそのサポート体制はできているのか。教育指導担当主事：学級の中で生活面や学習面で困っている子どもがいれば、保護者や担任が要請して、校長の指導により、校内委員会のほうで個別指導計画を立てて対応していきたい。担任一人で大変な場合、ボランティアの助けをいただいている事例が非常に多い。指導者は教員でなければならないが、補助者は教員でなくてもいいので、ボランティアの要請、メンタルサポーター等多様な対応を進めていきたい。教育長：ともすれば心身障害学級のみが対応してきた障害のある児童生徒への取り組みを学校全体で、児童生徒を含めたすべての人たちが支援するものにしていいかなければならないと考えている。

感想：理念先行になっている。ひとつひとつの事例を保護者、学校長、教員、などで話し合いながら、何が必要か、何が足りないか、等を検討し対応していくことが今求められている。学校長の意識変革が必要。

## 議 会 傍 聴 記

12月2日ぎりぎりセーフでその日最後の陣内さんの発言を傍聴することが出来ました。

傍聴室に入り、その場の雰囲気や聞きなれない議員さんの発言口調にはじめ少し緊張しましたが、質問内容は私たち市民の生活に関わる問題など身近なもので、「八王子はどこへ向かっているのか？」などストレートな質問が出たり、思わず自分も質疑応答の中に参加したい気持ちになりました。

今回は議会のほんの一部しか傍聴することができませんでしたが、渡された一覧表には発言される議員の政策内容が、公衆トイレなど環境整備のことから地球温暖化対策まで、ぎっしりと書かれていて一つの市で抱える問題の多さに驚いたと同時に、八王子に住む一員として市が抱える問題を少しでも意識してゆきたいと感じました。

(陽一)

## キーワード解説

### 指定管理者制度

従来、市は、「公」の施設の管理を市の外郭団体、市が出資している財団などに限定して業務委託していたが、地方自治法244条の改正で市は、株式会社を含めた団体、法人、NPOなどの市民団体などに業務委託することが可能となった。2006年3月までに、現在の管理委託しているところを、直営か、あるいは指定管理者制度のいずれかに移行しなければならない。

目的は、民間の能力を活用しつつ、サービスの向上を図り、市民に柔軟に対応できるものとするため。経費の縮減と市民サービスの拡充をめざす。

<具体例> 体育館 民間のフィットネスクラブ  
文化施設 美術館、博物館、文化芸術関連企業  
図書館 出版、関連団体など

【問題点】この制度をコスト優先で考えるのではなく、またアウトソーシングによって行政の責任が軽減されるということではなく、住民のより一層の福祉に供する公共性と効率性を実現する制度設計が求められている。

### 特別支援教育

従来の特殊教育の対象の障害だけではなく、LD、ADHD、高機能自閉症を含めた障害のある児童生徒の自立や社会参加にむけて、その一人一人の教育的ニーズを把握し、その持つ力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う。2007年4月から本格実施予定。

<理念> ノーマライゼーションの進展

【問題点】どのようにして一人一人のニーズにこたえるのか、新たな差別を作り出すことにならないようにしなければならない。形だけの交流に流されないようにする。多様性の徹底が必要。

サマランカ宣言...1994年、ユネスコによる「スペシャルニーズ教育に関する世界会議」における最終報告の冒頭に掲載されているもの。

## やすこの活動日誌

- 10月15日 第5回居場所カレッジ 講師：松本智量さん（延立寺住職）  
 テーマ：「地域で多様性を認め合い、一緒に暮らすこと」  
 16日 日の出の森を守るシンポジウム第2回  
 17日 介護保険を考えるワークショップ（3回）  
 18日 決算特別委員会  
 21日 シルクサミット in 八王子  
 23日 ペットボトルのリサイクルを考える集会  
 （新潟中越地震）  
 24日 ふれあい運動会  
 子ども家庭支援センターオープン  
 25日 長寿社会を考える会 配食サービス見学  
 26日 先端技術センターオープン  
 27日 カフェミーティング  
 28日 八王子の財政を考える勉強会  
 29日 なんでも市民相談  
 30日 介護保険ワークショップ（4回）  
 31日 カフェミーティング  
 11月1日 少子高齢化委員会  
 2日 恩方りんご園・ブルーベリー園見学  
 3日 みんなの居場所1周年記念パーティー  
 教育講座ばーと  
 「どう選ぶ？学校 また、また教育委員会に訊こう」  
 6日 介護保険ワークショップ（第5回）  
 10日～11日 少子高齢化委員会視察（花巻市）  
 12日 なんでも市民相談  
 留学生日本語弁論大会  
 13日 暮らしの見直し展  
 14日 あなたもできる心臓救急 シンポジウム  
 15日 会派代表者会議  
 16日 総務・厚生水道委員会（傍聴）  
 17日 文教経済委員会  
 高尾の自然科学博物館についての意見交換会  
 18日 七国小学校見学  
 移動サービスを考える講演会  
 19日 なんでも市民相談  
 20日 平和イベント  
 22日 少子高齢化委員会  
 第4回定例議会開催告示  
 25日 議会運営委員会  
 「福祉先進国デンマークから女性の自立を考える」  
 講師：ブンゴート孝子さん  
 26日 なんでも市民相談  
 長房西保育園保護者説明会  
 27日 「まちづくりをデザインする」  
 主催：八王子自治研センター  
 28日 八王子憲法9条の会 平和イベント  
 29日 まま家（第1回）オープン  
 「東京都を女性が変える」シンポジウム  
 30日～3日 本会議 一般質問  
 12月2日 一般質問（陣内\*ありがとうございました）  
 4日 男女共同参画センター1周年記念行事  
 シネマ&トーク「フライド・グリーン・トマト」  
 6日 本会議  
 7日 総務企画・厚生水道委員会（傍聴）  
 8日 文教経済委員会  
 9日 デイサービスこんべいどう見学  
 10日 会派代表者会議  
 新市民会館検討委員会（傍聴）  
 11日 法政大学大学院中筋ゼミ ゲスト講師として  
 13日 議会運営委員会  
 「戦後の女性の政治参画について」シンポ  
 14日 まま家（第2回）オープン  
 15日 本会議  
 修士論文発表・報告会  
 20日～22日 議会運営委員会視察（北九州市・姫路市）  
 25日 「安心の老後のために」 成年後見制度など  
 [これ以外の活動もさまざま。主だったものを掲載しました。]



松本智量さんの誠実さに  
みんな感激！



多くの方に集まって  
いただきました。  
これからもよろしく。

## インフォメーション

1

24

### 伝統食ところ「まま家」オープン

1月24日(月)  
日本の伝統の味を玄米と一緒に  
味わいましょう。

(要予約)

日時・場所：みんなの居場所  
12時より

連絡先：0426-36-8158



2

2

### 活動弁士「澤登 翠の世界」

2月2日(水)  
活動弁士「澤登 翠の  
世界」- 活弁付きシネ  
マ&トーク

日時・場所：下北沢・北沢タウン  
ホール 開演19時

主催：シネマF倶楽部(東京ウィメン  
ズブラザ民間活動助成事業)

連絡先：03-3306-2762(小野T&F)



### 議会報告会(カフェミーティング)

誰でもお気軽にお出かけください。「こんなことが言いたい」「ここがわからない」、ざっくばらんに  
市政について話しましょう。



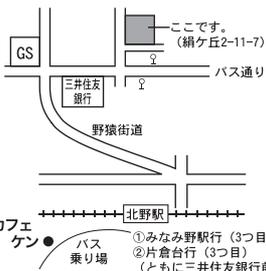
日時

1月28日(金)

9時30分から  
(於 みんなの居場所)  
TEL: 0426-36-8158

1月30日(日)

9時30分から  
(於 南大沢文化会館)



### 「高尾の自然科学博物館を考える」

2

15

2月15日(火)  
「高尾の自然科学博物館を考える」  
第1回シンポジウム

場 所：クリエイトホール 視聴覚室 18時30分から

主 催：高尾の自然科学博物館を考える会

連絡先：0426-61-7197(谷村)

次回(第6回)居場所カレッジは2月上旬、介護保険に  
ついて行う予定です。